



YMCA NEWS

神戸青年 No.591

2008.11・12 Nov・Dec

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/坂本 庸秀
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL .078-241-7201 FAX .078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

- 三田センター
- 宝塚センター
- 西宮YMCA
- 神戸YMCA三宮本館
- 須磨YMCA
- 西神戸YMCA
- 西神南センター
- YMCAちとせ幼稚園
- 西神戸YMCA幼稚園
- YMCA保育園
- 西宮YMCA保育園
- 余島野外活動センター



神戸YMCA 年間聖句 あなたがたの光を 人びとの前に輝かしなさい。
(マタイによる福音書 5:16)

世界YMCA / YWCA 合同祈禱週
~ 2008年11月9日~15日 ~
自由と平等に生まれて~ 神に祝福された人権

YMCAの願い

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と身体を育むこと」

YMCAでは、これらを実現するために「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」をすべての場面で大切にしています。

かけがえのないいのちと平和 ~ YMCA国際協力募金 ~

今年も秋から冬にかけてのYMCA国際協力募金強化月間が始まりました。

YMCA国際協力募金は、世界の国と地域にひろがるYMCAのネットワークを通じて、すべての人びとが国・民族・宗教のちがいを認め合い、平和にいきいきと暮らすことができる世界をつくりだすための国際協力・地域奉仕活動に用いられています。



YMCAでは日頃、諸活動を通して「YMCAの願い」を実現するために全力を尽くしています。特に、神戸YMCAでは、「こどもと若者のいのちが光り輝くように」という願いのもと、「人を育てる」活動を行っています。人と人との交流から学びあい、互いに理解することで心の成長を目指します。私たちは、家族や地域の人たちとの交流のなかで、互いに求め合

い、協力しながら暮らしています。神戸YMCAでは、地域の人たちとともに、キャンプ・野外活動、ウエルネス、文化活動、チャイルドケア、専門学校、オルタナティブスクール(自分のペースで学べる場所)、語学教育、国際交流・協力、地域支援プログラムを行っています。体験や学び、豊かな出会いを通して、ひとりひとりのいのちが光り輝くことを願っています。地域の人たちと創りあげる活動が、神戸だけでなく世界のYMCAにおいても「人を育てる」活動となっています。

有名な言葉に Think Globally, Act locally (世界規模で考え、身近な地域で活動する) があります。

YMCAでは、世界の国と地域にひろがるYMCAネットワークでつながる人たちのことを考えながら、地域に根ざした活動しています。

世界に目を向けると、貧困、災害、紛争など、困難な

暮らしを強いられる地域があります。それぞれの地域で、YMCAは現地の声に耳を傾け、本当にそこで「必要な活動」とは何かを問いながら、彼らとともに活動を続けています。困難な環境の中でも、ひとりひとりのいのちが光り輝くように願うことが、神戸YMCAの願いでもあります。私たちはすべての人びとがいきいきと暮らすことができる世界を願って活動しています。

この秋、神戸YMCAではいくつかのバザーやカーニバルが催され、その収益は国際協力募金に献金されました。これらのイベントが催される前には、必ず、ボランティアの方々とともに目的や使途について話し合います。そして、「ここから広がる笑顔の輪(和)」という言葉が生まれました。ひとつの地域から(ここから)広がる笑顔のつながり。一方通行ではなく、互いに関わりを持つて広がり、互いに、点から線となり、そして輪となることを願って生まれた言葉です。この度のイベントでも、多くの豊かな出会いがあり、笑顔溢れる時が持たれました。わたしたちはさまざまな活動を通じて地域の人たちとともに協力し支えあう社会を創ります。

今年度、国際協力募金全体として、次のような目的のために用いられます。

- 海外/国内の災害緊急支援
- アジアの農村支援
- アジアでの日本語教育
- アフガン・パレスチナ難民支援
- 海外からの就学生支援
- エイズ・プロジェクト
- 国際分野の指導者育成

2008年度 神戸YMCA 新春YYフォーラム

楽しくわいわい語り合しましょう。

日時 2009年1月17日(土) 13:00 ~ 18:00
会場 神戸YMCA三宮会館 参加費無料

お申し込み・お問い合わせ
【神戸YMCA本部事務局】
電話 078-241-7201
FAX 078-241-7479

第206回 神戸市民クリスマス

- 2 3 . 2 : * ~ + ! " | . []
- キャロリング 教会や街角でクリスマスキャロルを歌いメイン会場へ北野コース 元町コース
- 子どもプログラム カトリック中央教会集會室 18:00 ~ キャンドルアート クラフト 祈りのカードコーナー など
- ほっとタイム カトリック中央教会中庭 18:00 ~ ホットドリンクコーナー 他
- 祈りと祝福のとき カトリック中央教会礼拝堂 19:30 ~ クリスマスメッセージ クリスマス曲の合唱 など

お問い合わせ 神戸市民クリスマス委員会(神戸YMCA内) TEL 078-241-7201



1981年9月、私はNYから4ヶ月のサマーキャンプを終えて東京へ帰ってきた。空から見る日本は整然と箱庭のようで、あまりにも美しくそこに住む人々の息吹は感じられなかった。それと対照的なマンハッタンの印象。 JFK 空港に到着した10数名の日本人 キャンプカウンセラーは、Ston House YMCA 前でライトバンから降ろされた。そのYMCAにはすでに神戸YMCAの近江岸主事が待っているはずだが、入り口がわからない。YMCAの周りをぐるっと1、2周したが、行き交うアメリカ人は人種も様々で背丈も大きく迫力がある。正直、こわい、と思った。周りの景色は眼に入っているものアメリカ人の迫力、人間のパワーに圧倒された。これがアメリカか。やっとの思いで建物の中に入った。薄暗い高い天井のずつと奥に大きな机があり、その前に焼けた赤黒い顔の近江岸主事は座っていた。「やあ、みんな来たか?」 今、世界は史上最悪の金融危機を迎えている。米国は、長期化する景気後退を日本の経験からも、極力早く立ち直らせようと躍起になっている。が、世界の足並みが揃うのはなかなか難しい。人・国家のエゴはなかなか消しにくい。

最後に聖書の言葉を。「あなたがたの中で偉くなりたいたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。」 (八木 誠)

神戸市では今年5月に環境サミット（G8環境大臣会合）が開催されました。

神戸YMCAでも今年度の強調点として、環境課題への取り組みを通して、「いのち」の輝きを求め、平和を希求する働きかけを掲げています。

神戸青年でも『神戸YMCAの考える環境』と題して様々な環境に対する取り組みや、発信をシリーズで展開します。

『テーマ』

- 7 / 8月号 : 資源について～クリーンキャラバンの取り組みから～
- 9 / 10月号 : 環境プログラム・環境キャンプ～サントリー・コープこうべとの共働から～
- 11 / 12月号 : 子どものからだところの育みから
- 1 / 2月号 : 地球・汚染
- 3月号 : ～人口・国際・平和～



子どものからだところの育みから

「最近の子どもは体力がない!!」「運動神経も落ちてきているのではないか?」など世間で、よく耳にするようになってきています。はたして、その原因は子どもたちにあるのでしょうか? 今回、「子どもの体力とライフスタイル」に目を向けた働きが、YMCAの中で何かできないか? という観点から全国YMCAでタスクチームが作られ、子どもたちの保護者に向けたメッセージ「子どものからだところの育み」を作成いたしました。すでにご覧になっている方もいるかもしれませんが、一部ご紹介させていただきます。また、今回「子どものからだところの育み」を作成していくにあたって、神戸YMCAウエルネス委員の平川和文先生（神戸大学大学院人間発達環境学専攻 教授・医学博士）に監修として携わっていただきました。

子どものからだところの育みから

子どもを取り巻く環境の変化
外遊びの減少、集団遊びの減少
昔E 外遊びの減少、集団遊びの減少

ゲームなどがまだ普及しておらず、放課後に飛び出して遊ぶケースが多く、そこでの体験がからだや精神、創造性、社会性を育んできました。ゲームが流行し、室内かつ少人数での遊びが中心となっています。遊びの中で人とのやりとりが減少しています。
昔E 工夫・創造する機会の減少、空き地や広場で強制的でない自由



子どもたちの大好きな山のぼり!! とびばこやマット、タイヤなどを用いて、子どもたちにとってチャレンジしたくなるような大きな山を作ります。体全身の力を使って必死に登ることで、体力を養います



ボールを使った遊びのひとつの場面です。ボールを投げたり、転がしたり、キャッチしたり、ドリブルしたり...同じことを繰り返し練習するだけでなく、さまざまなボール遊びを通して、巧緻性などの運動調整力を養っています。この日は、保護者の方にも参加してもらい、子どもたちも笑顔で楽しんでいました!!



YMCAの体育館にはお決まりの「ターザンロープ」。子どもたちだけでなくお母さん、お父さんも子どもに戻った気分、ターザンのように揺れる感覚を楽しみました。また、子どもたちが日頃行っているプログラムに保護者がチャレンジもしてみました。子どもたちからの視点や気持ちを感じられるきっかけになったようです。

り組む子どもたちが増えたことにより、全く何もしない子どもとの二極化現象が進んでいます。家庭環境の変化、しつけの低下、兄弟も多く、縦の組織がはたきりしてしまいました。家庭内でも日常的に競争や協調が必要とされていきました。兄弟が少なく、家族間での刺激が減少しています。ひとりの子どもに対する親の期待が大きく、親の基準で子どもと接するケースも出てくることにより、過保護になったり、逆に放任になってしまったりもありません。

YMCAの活動から

YMCAでは、アクアティック・サッカー・体育・体操・バスケットボール・幼児教室・野外活動・キャンプなど様々な活動を通して、子どもの成長を願い活動しています。また、それぞれの地域でファミリープログラムや特別プログラムなども企画し、子どもたちのところからだを育んでいく活動も行っています。
西神戸YMCA 幼稚園・YMCA Aちとせ幼稚園 幼児体育プログラム
両幼稚園では、幼児体育プログラムを昔から行っています。幼稚園

園には珍しい? 大きな体育館を設備し、この時期に必要なたくさん動きを経験・習得していくことがねらいです。何かができるようになる、上手になるといった単一的な視点ではなく、子どもたちが自身が体を動かすことに楽しみを持てるよう取り組んでいます。
三宮YMCA Aヘルシーキッズ & ファミリーデイ」家族のつながり、
三宮YMCAでは、数多くのプログラムを行っています。休日などを利用してファミリーに向けた特別プログラムを実施しています。子どもたちだけでなく、家族のみならずにも参加していただき、運動したり、野外料理などにチャレンジしたりしています。

子どもたちの体力や運動能力の低下は、子どもたちが運動しなくなったのではなく、子どもたちが取り巻く環境が大きく変化したことが要因と考えられます。とはいえ昔の環境に戻ることはできません。今子どもたちが社会の中に置かれている状況や課題を認識しつつ、その中で子どもや若者のいのちが光輝くような「環境」をYMCAの活動を通して作っていかれることを願っています。

なお、「子どものからだところの育み」については、神戸YMCAホームページ内 (<http://kobeymca.or.jp/kodomo/>) にてPDFファイルでご覧いただけます。

募金感謝

ワイズメンズクラブ六甲部会
座古谷 光夫
社交ダンスクラブ

(敬称略・順不同、8月10日、10月10日)

ウエルネスセンター三宮	x078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	x078(241)7237
ランゲージセンター	x078(241)7204
専門学校	x078(241)7203
西宮YMCA	x0798(35)5987
三田センター	x079(559)0075
余島野外活動センター	x0879(62)2241
国際・奉仕センター	x078(241)7204



ウエルネスセンター学園都市	x078(793)7401
西神戸YMCA	x078(793)7402
西神南センター	x078(993)1560
須磨YMCA	x078(734)0183
YMCA保育園	x078(794)3901
西宮YMCA保育園	x0798(35)5992
YMCAちとせ幼稚園	x078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	x078(997)7705

恵まれた世界大会、大成功だったコンサート

神戸YMCAベルクワイアー 指揮者：阿部 望

神戸YMCAベルクワイアーは、今夏、フロリダで開かれた第13回ハンドベル世界大会への参加を機に、ニューヨークとノースカロライナを訪れました。1988年のイギリスでの第3回大会で知り合ったニューヨークの友人達からの誘いがある、8月2日、ニューヨークのRiverside ChurchでのFellowship Concertに参加しました。4日からはフロリダ大会での、友人達との再会や出会いが嬉しいものです。ところで、1983年に、様々なベルの収集家達の集まりが神戸で開催された際、日本ハンドベル連盟の夏期講習会の講師として来日中のRobert Ivey氏が参加され、私達の演奏を聞いて下さった彼から「アメリカに来るなら、いつでもコンサートツアーなどの面倒を見てあげる」と云って下さった言葉に、是非チャンスがあれば行きたいと答えたのでした。それ以後、機会ある毎に、いつ来るのか?と云ってくれるのでした。この度、やっと彼の住む町シャーロットの近くで世界大会が開催されましたので、是非この約束を果たそうと、メンバーの調整をして、これを現実させたのでした。Ivey氏からは「様々な音、響きをその場に合った打ち方によって打ち分ける様子に感銘を受けた。全てのクワイアの目標とすべきクワイアだ」と、音楽性を高く評価して頂きました。多くの方々の涙を誘った演奏もあり、皆さんが立ち上がったの拍手にたじろいだ程でした。シャーロット滞在は最も短いものでしたの



に、当地の人達との深い交流が印象深く、気持ちの良い滞在でした。シャーロットもニューヨークも共にホームステイでしたが、やはり現地の人たちと生活するというのが嬉しかったです。「君たちを送り出し、今朝の食卓で君たちが居ないのは寂しかったよ! 今度は25年も待たせないで来てくれよな」などと云われると、つい、また行きたいなあ、などと思ってしまう。こうした交わりが生まれ、育まれて行くからこそ、シンポジウムが音楽の研修の場だけではなく、もっと大切な意義のある事に繋がっていると思うのです。やはり、1988年に親しくなったカナダのフロント夫妻には、2004年のトロント大会後のツアーでお世話になり、思い出深いツアーとなりました。何よりも、ホームステイや、教会での家庭料理の接待などで、ホテルでは味わう事の出来ないものを供して下さることも魅力の一つです。我々としても、カリフォルニアのグループの友人たちを分担任して泊まって頂いたことも、超有名な作曲家を家に招いて食事を供した事もありましたが、すべて、こうした交流から生まれたものでした。7月31日から8月12日までのツアーが神様に守られた事を、心から感謝しています。ところで、このツアーメンバーを中心としたコンサートを、須磨教会が9月21日にチャペルコンサートとしてとり上げて下さいました。これは、震災で大きな被害を被った須磨教会の近隣の方々の為に、良い音楽を安価で提供して、少しでも心の糧として頂くとして須磨教会が始めたものです。ツアーメンバーだけでなく、参加出来なかったリンガーも含めたコンサートになりました。アメリカでのエピソードなどをお話ししながら、その感動を再び味わう事が出来たコンサートとなりました。祝福されたひと時であった事を感謝しています。また、12月23日(火・祝)15時より、恒例の六甲カトリック教会でクリスマスコンサートが開催されます。是非お出かけ下さい。



もコンサートツアーなどの面倒を見てあげる」と云って下さった言葉に、是非チャンスがあれば行きたいと答えたのでした。それ以後、機会ある毎に、いつ来るのか?と云ってくれるのでした。この度、やっと彼の住む町シャーロットの近くで世界大会が開催されましたので、是非この約束を果たそうと、メンバーの調整をして、これを現実させたのでした。Ivey氏からは「様々な音、響きをその場に合った打ち方によって打ち分ける様子に感銘を受けた。全てのクワイアの目標とすべきクワイアだ」と、音楽性を高く評価して頂きました。多くの方々の涙を誘った演奏もあり、皆さんが立ち上がったの拍手にたじろいだ程でした。シャーロット滞在は最も短いものでしたの

PHOTO TOPICS



フィリピン・アルバイワークキャンプ
日本の歌に興味を持ち、自然と集まった仲間と歌の練習をしています。フィリピンで学んだ全てをこれから周りの人に還元してゆきたいです。
(西宮ブランチリーダー 藤井篤彦)



インドネシア・ジョグジャカルタワークキャンプ
村では、子ども達と多くの時間を共に過ごす事ができました。人気の遊びは『だーるまさんが、ころんだ。』
(西宮・国際ボランティアリーダー 細川房子)



8/18~24で香港YMCAから17名の子どもたちと2名のスタッフ、1名のリーダーの計20名が三田を中心に環境や農業についての体験学習のプログラムを実施しました。内容は日本語の学習会、コープこうべの協力のもとエコファーム訪問、ゴミ処理場見学などでした。



ワイズ六甲部部会
台風が心配されましたが、よいお天気で実施できることとなりました。ワイズメンバー・メネットは余島の自然に大感激しました。

サッカーからはじまる「縁(えん)」

~東アジア3カ国交流少年少女サッカー大会~

8月22日~26日の5日間で、東アジア3カ国交流サッカー大会が実施されました。天津YMCAから14名、香港YMCAから16名、釜山YMCAから16名の子どもたちが神戸にやってきました。神戸YMCAからは77名の子どもたちが参加し、サッカーを通して交流をはかりました。大会期間中の宿舎の中では、神戸の子どもたちが「ニーハオ」「アンニョハセヨ」と中国や韓国のお友だちに挨拶をし、中国や韓国の子どもたちは「コンニチハ」と照れくさそうに挨拶をしていました。しかし、試合や室内レクリエーションの時間を共にすることで、なんだか挨拶が通じることが嬉しくなってきたようで、日増しに挨拶の声の大きさや数が増えていきました。また、子どもたちが楽しみにしていた試合では、どの国の子どもたちもボールを追いかけ、勝利を喜び、負ける悔しさを共にする姿が見られました。また、フェアウェルパーティーでは、日本のリーダーたちから「御縁」があったという意味を込めて、5円玉を紐でつるして首飾りにし、プレゼントとして3カ国のメンバーとリーダー送りました。3カ国の子どもたちにとっても日本の子どもたちにとっても、何もかもが衝撃的な出会いだったかと思います。これも何かの「縁」です。この縁から生まれた気づきや思いを抱いて、子どもたちが新たな未来を作り出すことを心より祈ります。 実行委員(西宮YMCA)小寺 隆志



第23回 クリスマスカードコンテスト

対象：幼児(3・4・5歳児)小学生
応募締切：12月3日(水)午後5時 神戸YMCA必着
作品発表：兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー
12月13日(土)~12月19日(金)午後3時まで予定
同期間、神戸YMCAホームページにも掲載されます
お問い合わせ・作品送付先：(大きさに決まりがあります。お問い合わせ下さい)
〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15 神戸YMCA三宮ブランチ
クリスマスカードコンテスト事務局 TEL078-241-7202 担当：大石



宝塚YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ主催 チャリティー市民クリスマスキャロルを歌う夕べ

宝塚地域の市民とともに愛と希望に満ちた教会音楽を歌い、平和の祈りを捧げます。聖歌隊の歌声やベル・弦楽アンサンブルの音色とともに、クリスマスをお祝いする雰囲気浸ってみませんか。

日時：12月12日(金)午後19時開演
場所：宝塚ベガホール(阪急宝塚線 清荒神駅から徒歩1分)
入場料：無料



個人消息

ご結婚 おめでとうございます
松尾隆幸さん(ウエルネスセンター学園都市)10/18 山本末世さんと
お誕生 おめでとうございます
原田泰志さん(ウエルネスセンター学園都市)ご長女 琉夏(るか)さん 8/30
磯脇 仁さん(コミュニティーサービセンター)ご長女 結羽(ゆう)さん 9/23
異動 よろしくお願ひします
小菅美紀子さん 三田センター ウエルネスセンター三宮
退職 おつかれさまでした
豊田 伸さん(コミュニティーサービセンター)10/31
ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます
伊地知睦夫さん(元神戸YMCA・姫路YMCA主事、神戸YMCA名誉会員、西宮ワイズメンズクラブメンバー)9/8